公益財団法人 旭硝子財団

**2023年度（2022年度募集）「サステイナブルな未来への研究助成」**

**【提案研究コース】申請書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **分野** いずれかに囲み線をつける | 建築・都市　　人文・社会科学　　環境ﾌｨｰﾙﾄﾞ研究 | **研究領域**応募要項に示したアルファベットを1つ記入する |  |
| **研究課題** |
| **申請者**氏 名： xx xx　　　（フリガナxxxxx　xxxxx）　　　　　生年月日：19xx年 xx月 xx日（xx才）所属機関： xx大学大学院xx研究科xx専攻 職位：xx　　　　　　　　　　　＜職位： 常勤／それ以外　(どちらかに囲み線をつける)＞　＜任期付の場合：20xx年 xx月までの任用見込＞ ＜クロスアポイントメント： 無／有　(どちらかに囲み線をつける)　 ※有の場合、上記所属機関の割合は、xxパーセント＞所属機関所在地：(〒xxx-xxxx) xxx県xxx市xxx町xxx[TEL] xx-xxxx-xxxx　[携帯TEL] xxx-xxxx-xxxx　[上記所属機関の本人E-Mail] xxxxx@xxx.ac.jp |
| **申請研究期間**どちらかに囲み線をつける | 1年間　2年間 | **助成申請額**研究期間を通じた合計額。建築・都市分野：100～250万円、人文･社会科学分野：50～150万円、環境フィールド研究分野：100～200万円 | x,xxx千円 |
| **研究概要** 3ページ目以降の記述内容を要約してください。最も重要なポイントについて、アンダーラインを引いてください。各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください。**１）研究提案の背景と目的･目標：**どのような背景(必要性)に対し、何を達成/解決/克服するのか**２）研究手法：**どのようにして課題を達成/解決/克服するのか**３）研究提案の独自性、研究手法の独創性：**類似の研究とは何が違うのか、独自の発想は何か**４）研究の学術的または社会的な意義や期待される波及効果：**持続可能な未来にどのように貢献できるか |
| **１．申請者の略歴、研究分野、業績** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください１）学歴･職歴(大学入学から記載してください)※クロスアポイントメントの場合、それぞれの勤務先の従事割合を記載してください。 　○○大学　□％、××研究所　△％２）これまでに行った主な研究３）受賞関係（年月、表彰機関、受賞の名称、題名など）  |
| **２．共同研究者**(申請者と共同して研究PJ全体に参加する研究者)、**研究協力者**(補助的あるいは部分的に参加する研究者)： どちらであるかを囲み線で示してください ①〔氏名・年齢〕 （ 才） 〔所属機関・職名〕 （共同，協力） ②〔氏名・年齢〕 （ 才） 〔所属機関・職名〕 （共同，協力） ③〔氏名・年齢〕 （ 才） 〔所属機関・職名〕 （共同，協力） |
| **３．申請研究の内容** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください１）研究の背景　これまでの検討経緯があればここに記載してください２）研究の目的・目標 複数の副課題に分けても結構です。「持続可能な未来」に向けた視点を明示してください３）設定された目的・目標を達成/解決/克服するための研究方法 |
| 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください４）研究計画 助成金の使途と関連づけながら時系列的に説明してください５）類似の研究に対する先行性、研究提案や手法の独創性６）研究の学術的または社会的な意義と期待される波及効果**：**持続可能な未来にどのように貢献できるか |

**４．助成金使途内訳** (記入例をアンダーラインで示しました。使途として例えば人件費は認められません。
詳細は当財団ホームページに公開の「研究助成の手引き」をご参照ください)

〔金額単位：千円〕

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費　　目 | 1年目 | 2年目 | 内容・使途説明 |
| ＜設備・備品費＞・必要な消耗品費等も申請してください装置ＡＣ社製○○ソフトウェア＜消耗品費＞器具部品薬品＜旅費＞・受領者本人の旅費が原則です東京～中国○○省東京～京都東京～大阪＜謝金･外注作業費＞・学生が本来行うべき教育研究活動への対価には使えませんアルバイト＜その他＞・論文掲載費・通信費・会議費・図書費・施設使用料・学会費、参加費・学会年会費には使えません＜所属機関に支払う間接経費※＞・原則として機関に支払う間接経費（オーバーヘッド）をお断りしています。採択後に学内で免除申請を行ってください。 | 2000404060010002000000181039 | 010504001006001000204018000 | ○○製○○計測装置○○のデータ処理のため試料バイアル，単価○○円，○○個分析用薬品，単価○○円，○○個フィールド調査(年2回)共同研究者との打合せ(各年 2回)学会発表○○でのフィールド調査○○時間論文掲載費海外研究者への資料発送費○○研究者会合の会場費、資料作成費文献購入代プロジェクト推進のためのスペース代本プロジェクトに関して○○学会に参加予定間接経費2％（免除不可） |
| 小　　　計 | 1,400 | 600 |  |
| 合　　　計 | 2,000 | 研究期間を通じた申請の合計額・建築・都市分野：100～250万円・人文･社会科学分野：50～150万円・環境フィールド研究分野：100～200万円 |

※間接経費の免除が不可能な場合には、間接経費を計上してください。間接経費が助成額の5％を超える場合は採択の対象になりません。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **５．研究資金の受領状況** 科研費等の国の競争的研究費、民間財団等からの助成金はすべて該当します。 ※チーム研究の場合は申請者に直接かかわる金額を記入してください。１）申請者が2021年度以降に受領した競争的研究資金（すべて記入してください）助成開始年度がそれ以前であっても、あるいは本申請と異なるテーマであっても、当該期間に受領したものをすべて記入してください

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 受領年度 | 助成金の名称 | 受領者名（チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※（千円） |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |

２）申請者が現在申請中、あるいは近く申請を予定する競争的研究資金（すべて記入してください）同じ研究（使途）内容で他の機関に助成申請されることは差し支えありませんが、本申請と類似申請が重複でない場合は、相違点を６.の空欄にご記入ください。同一研究内容で他の機関からも重複して採択された場合には、必ず当財団にご連絡ください。どちらかの助成をご辞退いただきます。なお、他の競争的研究資金の採択状況について、12月～1月に問合せをする場合があります。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 助成金の名称 | 受領者名（チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※（千円） | 採択内定時期 |
|  |  |  |  |  | ××年××月 |
|  |  |  |  |  | ××年××月 |
|  |  |  |  |  | ××年××月 |

 |
| **６．選考において配慮を希望する事項、他の研究資金との相違点**(自由記載) |

**７．関連論文リスト**2017年以降の申請者自身の論文リストをこのページに収まる範囲で作成してください。すでに刊行されたものを対象としますが、Acceptされているものも注記を添えて下されば記載して結構です。

**本申請課題に関連する論文の実績はなくても構いませんが、本申請課題と関係の深いものは〇印を付してください。**

＜査読論文（掲載またはAccept）＞

1．

2．

3．

＜それ以外＞